

議 長
確認印

経済厚生常任委員会会議録

1 日 時	開会 平成 27 年 8 月 11 日 9 : 00 閉会 平成 27 年 8 月 11 日
2 場 所	委員会室
3 出席委員	吉田克則、鈴木安次、小峰由久、割貝寿一、藤田一男
4 欠席委員	小貫初枝（私用）、藤田恵二（傷病）
5 出席要求者	
6 職務出席者	議会事務局長、書記
7 説明員	まち整備課長、みち整備係長
8 付議事件	第 1 まち整備課所管事務（町道管理事業）
9 現地調査（9 : 00～14 : 30）	調査対象：各行政区から陳情があった町道 12 路線、林道 1 路線、県道 2 路線 随行者：まち整備課長、みち整備係長 内 容：陳情箇所を中心に目視調査を行った。 調査結果：別紙のとおり
10 議事の経過	副委員長：開会（10 : 30） 委員長：あいさつ 第 1 まち整備課所管事務（町道管理事業） 委員長：本日の調査で感じたことなど発言してほしい。 鈴木（安）委員：陳情のみではわからない点がある。現地確認は大変参考になった。 藤田（一）委員：案内がないとどこが崩落箇所なのかわからない。このような調査は執行側へのけん制にもなる。これによってもっと前向きに対応するようになるのではないか。 小峰委員：陳情内容は大小あるが、地元の人にとっては切実なものだと思う。町は、緊急性のあるものについては適正に取り組んでいると思う。 吉田委員：町道全路線を町職員だけでパトロールするのは困難。行政区長を通じて町に情報が上がってくる。この点で陳情の意味はあると思う。 割貝委員長：切実な内容だと思うが、全部やることはできない。特に山間部の要請に応えるのは大変である。説明して限界を知っていただくことも必要である。 鈴木（安）委員：人が多く住んでいるか否かでなく、そこに人が生活している以上安心して生活する権利がある。陳情に至った経緯などをもっと考える必要があると思う。 副委員長：閉会

埴町議会委員会条例の第 27 条の規定により署名する。

平成 年 月 日

経済厚生常任委員長

町道等管理状況調査結果（陳情内容から）

区名	路線名	陳情内容	調査結果
東河内区	出戸粉金線	路肩崩落（県道接続部から）	コンクリート舗装路肩洗掘
	湯沢猫穴線	暗渠崩落箇所修（猫穴大友氏宅前）	アスファルト舗装路路肩崩落
	湯沢一本木線	改良（湯沢地内豊田林道終点から一本木方面） 日陰解消（一本木）	改良済区間であるがカーブが連続し見通しが悪い。 急こう配箇所冬期間の凍結が心配される。
川上四区	清水和久見明線	舗装及び改修	待避所を数か所設置している。河川と隣接しており拡幅は容易でない。
	和久中平線	改良	橋梁の新設が必要。現在町で検討中とのこと。
	薄久保線	日陰解消	急こう配箇所凍結の危険性がある。山側の立木が道路を覆っている。
大畑区・大蔵区	清水大畑線	路肩崩落（立石地内）	陳情後速やかに着手、修繕工事完了済み
	萩平橋本線	路肩沈下（旗竿設置場所付近）及び国道接続箇所改良	沈下は見られるものの進行していない。自動車下部が路面接触するケースあり。
折籠区	折籠南線	路肩陥没、路面沈下、土砂堆積	陥没箇所は数回にわたり対応しているが、山側からの流水等により再発の可能性あり。
	林道折籠線	法面崩落	過剰な流入水により排水末端が崩落
矢塚区	那倉矢塚線	舗装延長	今年度約150m実施により那倉側は全線舗装となる。日陰解消必要箇所も見受けられるが周辺が国有林のため思うように進まない様子。
矢塚区・片貝区	県道高萩埒線	改良	急カーブが連続し、幅員も狭い。本格的な改良が求められるが莫大な事業費が見込まれる。

植田区・伊香区	県道矢祭山八槻線	歩道整備ほか	交通量も多く、必要性は理解する。土地取得からの実施となり時間を要する。
台宿一区・台宿二区	県道矢祭山八槻線	信号機の設置（天領大橋出口）	公安委員会に申請済みである。
	南原1号線	街路樹伐採（南原ニュータウン）	敷地出入りのため支障となる街路樹の伐採である。今年度実施を検討している。
	台宿南原線	歩道整備（南原）	付近は路上駐車などが見受けられるところである。現在路上駐車をなくすため駐車場設置を検討している。 歩道は、町営住宅の移転を伴うもので近近の実施は困難。